



no. 3

今回は、幼児クラスのお母さんたちに内容はお任せして自由に書いてもらいました。

◆今年もあっという間に終わり、コスモスに行くようになってから喜怒哀楽が出てきました。来年は、もっと成長して大きくなってほしいな♥ハイハイや歩く姿を見るのを楽しみにしています。

◆来年はいよいよきりん組。たくさん行事と就学のことであっという間の1年になるだろうと思います。コスモスに入って2年が経とうとしていますが、ゆっくりだけど確実に成長しているのが分かり、残り1年、どんな成長を見せてくれるか楽しみな半面、就学のことがどうなるのか今から心配している母です。

◆4月からコスモスに行くようになってここまであっという間でした。2010年は、娘のために何をしてあげたらいいかを考えた1年だと思っています。コスモスに通い始めたころは、泣いている娘にどうしたらいいのかわからなかったのですが、先輩お母さんに「大丈夫だよ！みんな泣くんだから。泣いて成長するのよ！」と声をかけてもらって大丈夫なんだと安心できました。

週に一度しか行けないのですが、コスモスのお母さんたちとお話するのが楽しみになっています。

日々変わっていく娘に驚かされることが多く振り回されっぱなしですがこれからもどんどん振り回してもらって???親子で成長していきたいと思っています。

◆コスモスさんの門を叩いてあっという間に2カ月が過ぎて、なんとか集団生活の輪の中に入っていけないのかと心配している毎日です。

親子一緒に時間が長すぎたせいか、中々思うようにはいかないあと日々反省です。コスモスに通うことに対しては抵抗がなくなってきたようなので、来年も見守っていきたいと思います。

通園してからは、自我が目ざめたようで、家でも泣いたり怒ったり、親の機嫌を伺いながらお願い事をしたりと以前では考えられないほど、言葉のコミュニケーションがとれてきたことに驚いています。これからはもっと暴れん坊になってくれるよう期待しています。

◆今年の5月から通い始め、まだ1年がたっていませんが、子どもが成長したとすごく実感しています。行き始めのころは車で保育園に向かっている最中に車の中で泣いていましたが、数回来るころには泣かなくなりました。ただ、いまだに自分の嫌いなものを見れば泣きますが、コスモスに慣れてくれてよかったと思います。来た頃は座って待つことができませんでしたが、今では座って待つこともできるようになりました。病気をしても通う回数も今は減っていますが、できるだけ通うようにし、少しでも成長してくれればと思います。

◆子どもの成長を日々感じ、自立していく姿が徐々に見られる一年でした。日ごろ、コスモスの指導員、保育園の先生方のお陰と感謝しています。コスモスへ来る前は、子どもとの関わり方が上手いかず、どうしたらいいかもがいていました。コスモスへ通うようになり、少しずつ母親というものに気づく事が出来、自然と母親のかかわりが一番大切だと気付かせられ、1日1日を大切に過ごしてきました。コスモスに来ていなければ、今も気付く事なく生活していたと思います。来年も今年以上に1日1日を大切に、親子共に成長した1年だったと言えるよう楽しんで生活したいです。

◆コスモスへ通うようになり、1か月、2か月…とあっという間に月日が経ち、やらなくてはならない事もままならぬ、バタバタした毎日です。それでも息子はコスモス、小さな森保育園の先生方やお友達との関わりのおかげで成長してくれています。

新しい子がコスモスへやってくる度、不安を抱えながら息子とコスモスへ来た日の事を思い出しま

す。息子の様子が気になり、健診などで相談しても「様子を見ましょう。」の一言。不安な日々は続きましたが、何とかコスモスにたどり着く事ができました。園長先生と面談し、息子の現状がはっきりし、ショックも受けましたし、将来にも不安を感じたけれど、どうしたらいいのか分からない不安な状態から抜け出すことができました。そして、“私が求めていたのはここだ！”と思いました。

毎日忙しくしていると忘れてしまいがちですが、今とても恵まれた環境にいることを忘れず、感謝しながら、親として日々やれることを精一杯やらなければいけないなあと思う今日この頃です。

◆今年になってゆうなは一人でトイレにけるようになったり、お風呂も嫌がらずに楽しく入れるようになりました。おしゃべりも立派になりました。また、なんでも自分の事は自分でやるという姿が強く感じられました。来年はきりんさんになります。今年以上に自分でできることを増やし、卒園に向けて頑張っていきます。

◆こちらでお世話になって4カ月。最近は少しずつ自分の事ができるようになって、言葉も出はじめ、家族みんなで喜んでます。

最初の頃のめぐるは、落ち着きがなく、パニックを起こし、目も合わせてくれず…。お友達や先生にパンチ、キックの日々。私もその頃は「どん底」にいたというか、悩んで、気ばかり焦って、それが空回りしているような状態でした。

ある時「くれよん」でひろ子先生がおっしゃいました。「現時点での小さいことで落ちこんでないで、未来を見なさい。『私はこの子と楽しく幸せにくらしていくの！』と思っていなければ何も変わらないのよ！」ハッとしました。本当にその通り。一番に変わらなくてはいけないのは、めぐるではなく、私だったんですね。康子先生はじめ、指導員のみなさんもいつも優しく「なるほど！」という話をしていただき、感謝しています。コスモスノートのコメントも毎日楽しみにしています！この場を借りてお礼申し上げます。あと、コスモスのお母さん方！私の失敗談やちっぽけな悩みを聞いてくれてありがとうございます。どんない心が軽くなった事か…。これからも仲良くしてくださいね。

来年はより楽しく、そしてビシッ！と(笑)。めぐるといろんな事にチャレンジしようと思います。手始めにスキー場デビュー☆かな？ 私は眠気に負けず本を読んで勉強する事、玄米を美味しく炊けるようになるのが目標です。来年もめぐる共々よろしくお願いします。

◆「母の勘は正しい」そうひろ子先生はおっしゃいます。我が子がちょっと気になる。まず一番に気付くのは母親。そしてコスモスへ辿りつくのも「母親の力」と私は思います。発達支援だとか療育だとか、その言葉自体に抵抗を感じるはず。まして、父親、祖父母、兄弟姉妹になんて言えばいいのか…。世間体も気になりだしたらきりが無い。コスモスへ来ているお母さん方は多かれ少なかれ悩むところだと思います。今回は「周囲へどう伝えるか」と題打って、私の体験とくれよんで他のお母さんから聞いた話を紹介したいと思います。

祖父母と同居してるか否で、また大きく違うとは思いますが。私の場合は実家が離れている事でコスモスへの通所自体は主人と話し合えばお問題でした。しかし、祖父母には内緒で来ている方もいらっしゃるし、ご主人が納得せず、母親が勝手に変だと思いで連れていくのだから協力するつもりはないと言われた方もいるようです。私の場合は、息子が言葉が出ていない事がまず気になって、コスモスへ来ました。コスモスに面談に来て、ここなら信じられる、息子は変わるかもしれないと感じ、ありのままを主人に話しました。主人は世間体など気にしないから、早いうちに通わせてみようと言ってきて、また、一人でひろ子先生に話を聞きに行ってくれました。ひろ子先生によると、やはり父親はなかなか我が子が療育が必要な子だと認められないそうです。父親の理解が得られれば、大切な生活リズム(6時起床、夜8時就寝)はやりやすいし、TV、ゲームは一切やめる、あめ、ガム、ラムネなどのあまいおやつはなるべく与えない、という3つの約束は守りやすいと思います。たかが3つの約束ですが、どれも守ることで、心が安定していきます。話が横道にそれますが、ある方が、そんなにアメやガムを与えたり、流行りのアニメを見るだけでそんなに落ち着かなくなるの？と聞かれた事があります。私は経験上、弱さのある子は特にこの3つが乱れると反応が早いと感じます。落ち着かなくなり、頭の中で何かが騒いでいるようにざわつきます。人の声が聞こえなくなり、自閉の傾向も強くなるようです。では、弱さのある子だけがそうなのでしょうか？答えはNOです。健全な子であっても落ち着かなくなり、乱暴になった

り、人の話が聞けなくなったりしていく。それは言うまでもありません。

先日、実家に遊びに行った際に、アメ、ガム、おかしにファーストフードを食べまくり、ジュースも飲みまくり、TVも見放題で帰ってきた息子。帰ってくるなり常に動きまわり、高い所に登りたがる。テンションも高く、鼻歌をずっと歌っている。私や主人の呼び掛けには全く応じず、目も合わず、天井を見上げている状態。すると、私より先に主人が…「甘いものやTVは効果観面だな…」と言っていました。実家での生活を反省しつつも、主人もそう感じている事に嬉しくなりました。どんなに療育を頑張っても、やはり家庭での生活が乱れてはダメなのだと感じました。そして、今までやってきたことの一つ一つがどんなに息子の心にとって大切なことだと改めて感じました。弱さのある子だからこそ、守ってあげたい、気付いてあげたい。それは過保護ではなく、親の愛情と私は胸を張って言い続けることができます。

さて次に、祖父母・兄弟にどう伝えるかです。私は主人の側には主人から話してもらうようお願いしました。私にうまく説明する自信がなかったからです。私の祖母は今でこそコスモス並びに保育園をとでも理解してくれていますが、最初話した時は、「何の宗教なの?」とか「〇〇はバカなの?」とか「跡取りだと思っていたのに」という言葉がかえってきました。今でこそ、発達障害、自閉症、高機能自閉症…etc.という言葉がありますが、当の親にしてみたら、キズついてしまう言葉です。私がどんなに言葉を労してコスモスのこと、息子のことを説明しても祖母にはピンと来ない様子。ならば、実際にみてもらおうと、腰の重い祖母に見学に来てもらいました。何と言われるか内心ヒヤヒヤしていました。すると祖母は「〇〇が楽しそう。何も言うことないね。ここにずっと置いてもらえたらいいね」といってくれました。また、私には姉が3人いますが、息子がコスモスへ通ってからの成長ぶりを見て、驚いていました。理解してもらおうといくら言葉で説明しても、分かる人にはわかるし、分からない人にはわからない、『感性』なのだとコスモス室長のやすこ先生はおっしゃいます。ならば、わたしはこの子を「どこにでも連れて行こう!!」と心に決めました。他人であろうが誰だろうが分かる人は息子の中の弱さを理解してくれて、それなりに接してくれるだろう。感性がある人は、子どもの様子を見るだけでわかってくれるはず。分かってくれない人を気に病むより、息子を外に連れ出し、体験させてあげよう。もし、周りに迷惑をかけたなら、その時は謝ればいい。そんな事を気にしているより、息子に一つでも多くのことを体験させて、肌で感じてほしい。好きなこと、楽しいことだけじゃない。嫌なこと、悲しいこと、怒ること、どの感情も大切だから。もちろんこの子につきあうのは、精神的にも体力的にも大変ですが…。

今回の最後にひろ子先生から言われた言葉を紹介したいと思います。当初、コスモスを理解してくれなかった母をぐちる私に向かってひろ子先生はこうおっしゃいました。「確かに、おばあちゃんの言葉にあなたは苦しんでいるかもしれない。でもね、あなたがここに辿りついたその感性、それを育ててくれたのは、あなたのおばあちゃんなのよ。子どものことを悩み、どうしたらいいかと考える力、コスモスに行ってみようと思うその心、おばあちゃんがあなたをそう育ててくれたのよ。まずは感謝なさい。…」

こんな子を産んでしまってと自分を責めてみたり、生活環境のせいしてみたり、祖父母や主人のせいしてみたり、息子に向き合えないで逃げ出すことばかり考えていた私でした。もしこの子がいなかったら、私は今までの間違いに気付かなかっただろうし、息子のおかげで大切な人達に出会うことができました。むしろ、息子に感謝しています。わたしは「当たり前の感覚」をもって息子を育てていきたいと思っています。「周りにどう伝えるか」という周囲の理解を求める前に、まずはこの子が自立した生活を送れるように母親としてできることを一つ一つ息子とともに積み重ねていきたいと思っています。その姿勢こそが周りの人々の心を動かし、理解を得られることにつながると、私は信じています。